

2020年度 明和中学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 古谷友宏 作成日 2020年4月20日現在

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- こどもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 明るく楽しい学校にしてほしい。
- 心の教育を大切にしてほしい。
- 授業を大切に、子供の学力をあげるようにしてほしい。

【学校教育目標】

人間尊重の精神を基本にして、知・徳・体の調和のある生徒の育成

【めざす生徒像】

- 自分と仲間を大切に、共によりよく生きていく生徒
- 自ら学び、自己実現に努力する生徒
- より広い世界を視野に入れ、伝統と文化を含めた社会に貢献できる生徒

前年度の学校評価

- 学校に行くのは楽しいと答える生徒は多い。
- 仕事を持っている保護者が多いので、学校行事等の日程を早めに案内する必要がある。

生徒の実態

- 学校生活に満足している生徒は多い。
- 授業に集中できない生徒がある。
- 家庭学習の定着に差がある。
- 多くの生徒が部活動に熱心。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎指導の工夫・改善と総合的な学力向上をめざす本校の『明和中学校授業づくり』のさらなる充実

豊かな心の育成

- ◎学級づくりを通し、自分と仲間を大切に、よりよく生きていく力の育成
- 道徳教育の充実

健やかな体の育成

- ◎保健体育教育の工夫・改善による心と体の調和的育成
- 健康安全教育の充実
- 基本的生活習慣の確立

地域とともにある学校

- ◎開放月間時の行事や授業公開による地域への取り組みの充実
- 地域での体験活動や行事等に対する参加の奨励

具体的な取組

- ◎各教科担任が「わかる授業」・「参加する授業」・「楽しい授業」等、主体的・対話的・深い学びをめざし、授業力を高める。
- ◎各個人の授業力改善に、より効果的な研究授業・提案授業のスタイルを工夫し、定期的実施することで、教師の授業力向上による生徒への効果をめざす。

- ◎「自分と仲間を大切に、よりよく生きていく学級」をテーマに、学級づくりの具体的な指導方法等を含めた研修を実施し、担任の力量を高める。
- ◎道徳教育充実のための現職教育を持つとともに、実際の授業改善に向けての取り組みを進める。
- 学校行事等での目標及び指導方法を明確にする。

- ◎体育学習・保健学習について、校内研修・勉強会を数多く実施し、心と体の調和的発達を図る。
- 養護教諭を中心に健康安全教育の充実を図る。
- 和歌山医科大学看護学部の実習を効果的に利用する。
- ブラッシング指導等具体的な健康の取り組みを実施する。

- ◎授業参観、育友会総会、部活動、吹奏楽コンサート等を地域住民に開放する。
- 学校開放月間の充実を図るとともに、より効果的な学校開放の在り方を検討する。
- 学校評価の取り組みを有効に活かすことで、保護者・地域・学校の信頼関係を深める。
- 避難訓練等の共同実施をする。

指標

・学校評価アンケートでの『授業が楽しい』75%、『学習内容がよくわかる』64%で80%以上に。

・学校評価アンケートの『私は、思いやりや優しさの気持ちを大切にしている』という項目が95%という値である。意識としては、大切さをはっきり押さえている。

・体育の実技授業についての、意欲・態度観点A評価を半分以上に。

・学校評価アンケートにおいて『家庭・地域との協力』等の項目において72%の肯定的評価。

◎：特に重点的に取り組むこと